

REPORT

01 NPO法人 もり あつま森林むすびの会

会員の平均年齢は50代ながら最年少は22歳、最高齢は92歳。農林業のほか一般企業に勤務する会員もおり、層は多様。町の人口増を背景に、若い世代が入会してきている。



心と体を元気にする森。でも、地元の森は手入れがされず本来の機能を発揮できていない……。そんな思いを抱く有志が5名集まり、平成24年に立ち上げたのが同会です。森の復活を願う活動は、町有林260haと林内散策路の整備からスタートしました。熟練者を指導役にチェーンソーの使い方や伐採木の運び方といった基本技術を現場で習得。伐採作業にロープワークを駆使したツリーイングを取

地元の森を
復活させて、
森と人を結ぶ場と
機会を提供

有志5名からスタート

（あつま森林むすびの会）は、厚真町が所有する環境保全林の整備を担っているNPO法人です。森林整備だけでなく、一般住民に向けたプロジェクトなど地域に根ざした活動を行っています。



伝統的な馬搬を継承

植生の保護や通路の保全のため、伐木の搬出には伝統的な馬搬を利用しているのも同会の特色。馬搬の技術は、近隣市町の造材現場やイベントり入れるなど、新しい技術も積極的に採用しています。また、毎年3回植樹学者を招聘して植生を調査。下草刈りなどの作業はその結果を踏まえて行い、林内の貴重な植物も守っています。

会員が増え活動も拡大

平成28年のNPO法人化を経て、現在の会員数は23名。薪炭材の需要が減少して放置されていた企業所有の雑木林の一部整備を任されたり、地元小学校の森林学習に「森の賢者」としてボランティア参加するなど、活動の幅も広がっています。組織規模が拡大しても「一番人気の活動は「森林整備作業に尽きます」と大岸征二理事長。森の中の作業で流す汗の心地よさ、整備された山を眺めて食べるお昼ごはんのおいしさは、今も変わらず会員の大きな喜びとなっています。

昨年で
15周年を迎えた、
フラワーマスターの
まちづくり

〔千歳市フラワーマスターの会〕は、千歳市内で花のまちづくりを推進しているボランティア団体。昨年結成15周年を迎え、フラワーマスターを中心に積み重ねた活動は着実に地域へ浸透しています。



協力して花のプロジェクト

同会の名称にある「フラワーマスター」は北海道の認定登録制度で、花の育成管理に必要な知識を持つ方を登録し、花のまちづくりのボランティアリーダーとして活躍してもらおうというものです。

同会はこのフラワーマスターたちが協力して活動するために結成。植花・花壇維持管理の助言指導や講習会の講師を務めるだけでなく、規模の大きいプロジェクトを組織立てて行えるようになりました。

アジサイの名所づくり

代表的活動が、平成19年スタートの千歳川アジサイロードプロジェクト。最初の5年間で挿し木から育てたアジサイ250本・ムクゲ50本を遊歩道沿いに植栽し、以来このアジサイロードで除草施肥作業や講習会を行っています。

毎年9月には「剪定講習会」、11月には刈り取ったアジサイを材料に「リースつく

り講習会」。アジサイロードのアジサイが、リースやハーバリウムとなって地域の方々の自宅を飾っています。また、アジサイロードの写真が市内の写真コンクールで入賞したことも手伝い、アジサイロードは千歳の花の名所として市民に定着しつつあります。

高速度道路の千歳インターから空港に向かう国道沿いを飾る「千歳ウェルカム花ロード」にも平成15年から協力。植栽に参加する小学生の指導を担当しています。

市外の研修会が学びの場

会員に人気の行事は毎年実施している研修会で、昨年は北広島市の横山造園花さんぽ、くるるの杜を訪問。市内で植花に関わるボランティア活動をしている方々とバスで市外に向向いて学びを深めています。

さらに、他地域のボランティアとも情報を共有。「無理のない活動を継続できれば」と岡本あや子代表は語ります。



REPORT

02

千歳市フラワーマスターの会

シニアを中心に会員は15名。

市内のアジサイの名所である極楽寺の住職、

玉井浩美さんも会員で、アジサイロードプロジェクトには指導的立場で関わっている。

平成30年度

緑化活動啓発作品 コンクール入賞者



北海道内の小中学生、高校生を対象に募集した森林や緑に関する作品コンクールの入賞者と作品の一部を紹介します。
賞状の額は、北海道の木で作成したもので、北海道森林組合連合会の提供によるものです。(樹種/マカバ、ミズナラ 製作/下川フォレストファミリー(株))

ポスター部門



〔 小学校の部 最優秀賞 〕
北海道知事賞

「僕たちを照らす緑の葉」
共和町立北辰小学校6年
加藤 純暉さん



〔 中学校の部 最優秀賞 〕
北海道教育長賞

「宇宙からの植樹」
千歳市立東千歳中学校1年
橋場 美咲さん



〔 中学校の部 優秀賞 〕
北海道森林組合連合会会長賞

「春夏秋冬」
厚岸町立真龍中学校1年
中屋 瑠菜さん



〔 中学校の部 優秀賞 〕
国土緑化推進機構理事長賞

「私たちの大切なもの」
清里町立清里中学校2年
伊勢谷 那月さん

〔 小学校の部 優秀賞 〕 共和町立北辰小学校6年 今井 沙耶さん、北見市立緑小学校6年 本間 萌香さん

〔 中学校の部 優秀賞 〕 深川市立深川中学校1年 高橋 碧紗さん、釧路市立鳥取西中学校2年 川畑 美優さん

〔 高等学校の部 優秀賞 〕 北海道留萌高等学校2年 渡部 真美さん

標語部門

つなげよう 大切な森 この先へ

〔 標語の部 最優秀賞 〕 江別市立村雁小学校5年 原田 采芽さん
北海道知事賞

〔 標語の部 優秀賞 〕 白糠町立茶路小学校6年 對木 隼祐さん、京極町立京極小学校3年 後藤 亜花梨さん

第44回 全国育樹祭



2020年に北海道で開催する第44回全国育樹祭の機運を盛り上げるため、緑化活動啓発作品コンクールの応募作品の中から全国育樹祭のポスターに使用する作品を特別賞として選定しました。また、大会テーマ、シンボルマークを全国から公募し、決定しました。

大会テーマ

つなごう未来へ
この木 この森 この緑

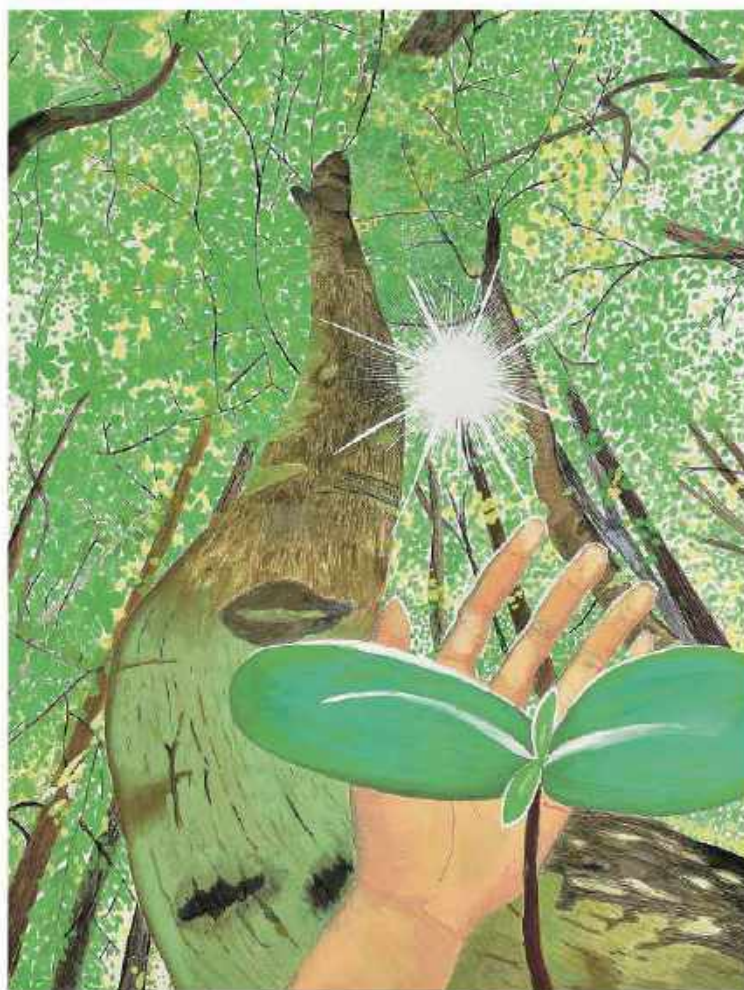
大阪府高槻市 池永 一広さん

シンボルマーク



大阪府大阪市
塩崎 榮一さん

ポスター原画



「希望をこめて～緑の光」 深川市立深川中学校3年 大道 ひなさん

第44回全国育樹祭の本道開催

平成32年(2020年)秋期に皇族殿下の御臨席を仰ぎ、全国育樹祭が33年ぶりに本道で開催されます。

- 式典行事 札幌市 北海道立総合体育センター(北海きたえーる)
- お手入れ行事 苫小牧市 苫東・和みの森(平成19年第58回全国植樹祭の開催地)

全国育樹祭の開催方針

全国育樹祭は、枝打ち等の育樹活動を通じて継続して森を守り育てていくことの大切さを伝える行事で、北海道が進める木育の理念にも合致し、本道での開催は、その木育の取組を加速させるものです。



皇太后陛下お手植の松

第11回全国育樹祭(昭和62年9月)の御様子

33年ぶり

北海道発祥の「木育」を推進

第44回全国育樹祭の開催を契機に、木育の取組を道民一人ひとりに浸透し、道民運動として定着させていきます。

このため…育樹等行事の道内6圏域での開催やイベント会場での木育ブース設置など木とふれあう機会を創出していきます。また、木の良さはもちろん、豊かな自然や景観、新鮮でおいしい道産食品など本道の魅力をおもてなしの心で伝え、全国に広く発信していくことを目指します。



札幌市/札幌ドーム 6月23日(土)、24日(日)

環境広場さっぽろ2018

【参加者】約25,000名

札幌ドームで開催された「環境広場さっぽろ2018」に木育ひろばを出展しました。木育マイスターさんの協力をいただき、道産材を使ったマイ箸づくりを行ったり、木玉のプール、積み木のタワーなどで木とのふれあいを楽しんでいただきました。

MORIMIDO 4.30 Report & News

平成30年度 北海道森と緑の会 活動報告 / 緑の募金ニュース

森と緑の会では、緑の募金や企業などからの寄附金などを活用して、道内各地で森づくり、緑化活動、木育ひろば、森林ボランティアの活動支援などを行っています。平成30年度の活動の一部を報告します。関係者の皆さまのご協力に感謝いたします。



札幌市/道庁赤れんが前広場 7月21日(土)、22日(日)

北のめぐみ愛食フェア

道庁赤れんが前広場で行われた「北のめぐみ愛食フェア」に木育ひろばを出展しました。「マイ箸づくり」が大好評で、順番待ちも出るほど。「食」との相性も最高です。観光に訪れた外国のお客さんも参加し、国際色豊かでした。



全道各地 4月15日(日)～6月30日(土)

緑の街頭募金

【参加者】約2,600名

春の募金運動期間に合わせて、全道各地で街頭募金を行いました。緑の少年団、小中学生、高校生、専門学校生、ボーイスカウト、ボランティア団体など多くの人たちが街頭に立って、募金を呼びかけました。



全道各地 春

緑の募金による花苗の配布

全道で23市町村が緑の募金を活用して、イベント等で花の苗を配布しました。深川市の緑の祭典では、深川フラワーマスターの会の会員を講師に「花の寄せ植え教室」を開催しました。



全道各地 春～夏

緑の募金による街の緑化

町内会などが主体となって家庭募金を実施して集めた緑の募金は、街路や公園などの緑化や花壇整備に活用されます。平成30年度は71市町村で街や公共施設の緑化、54市町村で学校の緑化などが行われました。



札幌市／北海道開拓の村、野幌森林公園 9月30日(日)

道民森づくりの集い

【協力】北海道、林野庁北海道森林管理局ほか
 【出展者】28団体、企業 【来場者】1,051名

森のテント村で木づかいグッズや木製品の展示・販売をしたり、ツリーイングや木工体験、きのこ汁の試食など楽しいイベントを通じて、森と暮らしの関わり、森の楽しさなどを体感しました。



岩見沢市／いわみざわ公園野外音楽堂キタオン 8月5日(日)

北海道森林スポーツフェスタ× 岩見沢トレイルラン

【参加者】993名

大会の参加費の一部を毎年緑の募金として寄付していただいております。快晴の空のもと、多くの人々がトレイルランやノルディックウォーキングに参加し、会場ではカミネコンを使った「水源の森づくり」やツリーイング体験も行われました。



札幌市／ひがしなまえぼ幼稚園、発家ひかり保育園 10月16日(火)・17日(水)
 千歳市／アリス認定こども園、千歳青葉幼稚園 10月18日(木)・19日(金)

森の教室

【寄附企業】(株)ファミリーマート
 【協力】(公社)国土緑化推進機構、北海道石狩振興局森林室、伊藤組農林(株)
 【参加園児】417名

幼稚園・保育園を巡回する「森の教室」で、どんぐり君が園児たちに森の大切さを伝えました。園児たちはその後ドングリの種まきを行いました。ドングリは苗木に育てて植樹します。



札幌市／道庁1階ロビー 10月10日(水)

第1回北海道児童・生徒 木工工作コンクール

【寄附企業】三洋橋産業(株)(士別市)、(株)ヨッダ(苫小牧市)

北海道木材育壮年団体連合会が主催する「第1回北海道児童・生徒木工工作コンクール」が開催されました。一次審査を通過した20作品が道庁1階ロビーに展示され、その美しさ、緻密さ、迫力などを競いました。



八雲町／水口 清弘さん 八雲町／千代 昇さん 10月28日(日)、11月9日(金)

森の名手名人認定

八雲町の千代昇さん、恵庭市の水口清弘さんが、国土緑化推進機構から「森の名手・名人」に認定され、認定証をお渡しました。千代さんは木彫り熊の講師、水口さんは炭焼き・炭窯づくりの名人です。名人には、「聞き書き甲子園」に参加した高校生が取材に訪れ、そのレポートが全国に向けて発信されます。



室蘭市／室蘭美園幼稚園、八丁平均幼稚園 10月29日(月)
 苫小牧市／放課後等デイサービス・児童発達支援りあん 11月 8日(木)

シンボルツリー植樹会

【寄附企業】室蘭地方自動車整備振興会
 【協力】ようい木育倶楽部、北海道緑地総合振興局森林室 【参加園児・児童】112名

緑の募金への寄附金を活用し、園児たちと寄附者が一緒にシンボルツリーを植えました。園には木の葉っぱのパズルもプレゼントされました。このパズルは本物の木の葉の形になっていて、木の名前を覚えることもできます。

山を育てる 仲間たち



#009

オホーツク管内林業グループ連絡協議会

Okhotsk kan-nai Ringyou Group Renraku Kyougikai

オホーツク総合振興局管内の9つの林業グループ・計124名が加盟する連絡協議会。同様組織の縮小廃止が全国的に進む中、加盟グループが協働で切磋琢磨し、設立50年を超えた今も着実に活動を積み重ねている。



マンネリ化・高齢化を乗り越えて50周年。 原点は「山が大好き」という熱い気持ちです。

指導林家を育てたたゆまぬ学びと新事業

平成29年に設立50周年を迎えたオホーツク管内林業グループ連絡協議会では、加盟する美幌、網走中央、大空町女満別住吉、北見市、置戸町、端野、富丘、湧別愛林会、上奥部の各林業グループが相互に交流しながら、研修会などを定期的で開催。長年の地道な技術習得は北海道知事が認定する指導林家22名を輩出する結果につながっています。

学び続けるモチベーションを維持するには、やる気を触発する新しい活動も大切。置戸町林業グループでは、町内の中学校で林業体験学習を平成23年から毎年実施。地域に貢献しながら次世代に



林業という職業を伝え、活動の活性化も促しました。美幌、網走中央の各林業グループは道内他管内林業グループの視察交流で大いに刺激を受けてきました。

林業継承と農林業以外の新規加入で活気

同連協が全道一の会員規模を誇るのも、各林業グループの努力の賜物。継承支援として若い世代に林業の収益事例を伝える研修会の実施や山づくり参加の声かけなどで丁寧に働きかけ、これまで

30名の2世・3世が林業を受け継ぎました。

置戸町の瀬口俊行さんもその一人。子どものころから親の手伝いで山に入って楽しさを体感し、農業を継ぐと同時に林業グループに加入しました。「林業は冬場の農閑期にできる仕事。自分でやる間伐や主伐は十分な収益があり、ときにはかなり儲かることも」とにっこり。会員の共同作業により育てたカラマツ材でマイホームを建て、林業の喜びを満喫しています。積極的な声かけは新規の山林所有者などにも向けられ、農林業の後継者以外でもこれまで16名の新会員を得てきました。

所有林のカラマツ、トドマツは主伐後の第2次人工林造成期を迎え、同連協が全会員対象に行う現地研修会も増えました。山の話をするると止まらなくなる会員たちが守ってきた森林は地域の宝。山づくりに対する情熱を原点に、次の半世紀も地域振興につながる明るい林業を目指します。



緑の募金インフォメーション

緑の募金でふせごう地球温暖化

「緑の募金」の仕組み

緑の募金は「緑の募金法」に基づくもので、皆様方の募金を適正に運営管理しています。

募金
個人・団体

北海道森と緑の会
運営協議会が募金の使途等を審議

(北海道知事が認定した委員)

直接事業

公募事業

森づくり
緑化の推進
市町村、NPO、
ボランティア団体等

info 01

「緑の募金」は このように使われました

■平成29年度の緑の募金使途

皆さまの思いと心のこもった貴重な募金は、森林の整備、公園や街路、学校などの緑化、木育の推進などの事業を中心に、大切に活用いたしました。ありがとうございました。

■平成31年募金活動は4月15日から

皆さまのご協力をお願いします。

募金の使途

平成29年度 募金総額 **34,793,078円**

市町村緑化事業助成	16,345,143円	市町村の緑化活動に助成・150団体
募金協力団体緑化事業	1,262,800円	募金協力団体の緑化活動に助成・19団体
一般公募事業	1,457,156円	ボランティア団体の緑化事業に助成・31団体
国土緑化推進機構負担金	1,511,000円	東日本大震災復興事業等に活用
森と緑の会直接事業	3,473,921円	ポスター等コンクール、緑化カレンダー、出発式等
緑の募金推進活動費	7,982,097円	募金PR活動等
翌年度繰越金	2,760,961円	

info 02

使途限定募金を行っています

募金の使途を限定して募集する募金です。現在、次のような使途限定募金を受け付けています。くわしくは、当会までお問い合わせください。

お魚殖やす森づくり支援

豊かな森は水源をかん養し栄養豊富な水が川から海に注ぎ、海の恵みを育てます。

この募金は、全道の漁協女性部などが取り組んでいる「お魚殖やす森づくり」を支援するために使われます。



北海道お魚殖やす植樹運動を応援しています

胆振東部地震復興支援

国土緑化推進機構は、大規模な災害の復興を支援する募金を実施しています。昨年9月に発生した胆振東部地震復興支援の募金は、被災地の森林整備や緑化に使われます。



info 03

「緑の募金」は税制上の優遇措置が受けられます

公益社団法人北海道森と緑の会への寄附は、その全額を公益目的事業に充てるため、「特定公益増進法人」として、税制上の優遇措置が受けられます。くわしくは、当会までお問い合わせください。

法人の場合

特定公益増進法人に対する寄付金については、優遇措置により、一般の寄付金と別枠で損金算入することが認められています。(法人税法第37条3項2号)

法人税

ア 特別損金算入限度額(特定公益増進法人への寄附)
[資本金等の金額×0.375%+所得金額×6.25%]÷2

イ 一般寄附金の算入限度額
[資本金の金額×0.25%+所得金額×2.5%]÷2

アとイの限度額(合計額)までの寄附金額の損金算入が可能となります。

個人の場合

寄付される金額が2千円を超える場合は、所得税の「寄付金控除」および住民税の「寄付金税額控除」の対象となります。

所得税

[寄附金額(総所得金額の40%を上限)-2,000円]×40%
までの税額控除(所得税額の25%が上限)が可能となります。

個人住民税

[寄附金額(総所得金額の30%を上限)-2,000円]
×[4%(道民税)+6%(市町村民税)]
までの税額控除が可能となります。

※個人住民税は、都道府県及び市町村が条例で指定している寄付金が控除の対象となります。当会に対する寄付金を条例指定している都道府県及び市町村は次のとおりです。
北海道、札幌市、岩見沢市、滝川町、網走町、白老町、厚真町、安平町、むかわ町、香美町、士幌町、上士幌町、鹿追町、清水町、芽室町、中札内村、幕別町、滝川町

平成30年 緑の募金協力企業・団体様 ※50音順

企業・団体名	所在地
(株)アドバコム	札幌市
阿寒総合林業協同組合	釧路市
旭川信用金庫	旭川市
旭川地方木材協会	旭川市
旭川林産協同組合	旭川市
旭川林窓会	旭川市
協同組合アースグローイング	岩見沢市
厚岸木材工業協同組合	厚岸町
(株)伊藤園	札幌市
浦幌林産協同組合	浦幌町
(株)エスシーアベックス	札幌市
Aコープチェーン道北ブロック協議会	留萌、稚内、旭川
Aコープチェーン4地区ブロック協議会	道南、後志、日胆、石狩
Sタウン町内会	札幌市
株式会社エスシーエム クラブメッド北海道サホロ	新得町
音威子府林産企業協同組合	音威子府村
興雄地区森林育成協同組合	興部町
小樽市立正青園中学校	小樽市
渡島森づくり事業協同組合	函館市
外国樹種見本林協議会	旭川市
河川愛護団体リバーネット21ながめま	長沼町
上川中部森林整備事業協同組合	東川町
旭東林産協同組合	東川町
北見地方木材協同組合連合会	北見市
木の芽書房	札幌市
厚板木材加工協同組合	浜中町
(一社)札幌林材協会	札幌市
(一社)札幌林業土木協会	札幌市
札幌しらかば台病院	札幌市
札幌トヨタ自動車(株)	札幌市
札幌モーニングロータリークラブ	札幌市
札幌ロータリークラブ	札幌市
札幌静修高校	札幌市
札幌龍谷学園高等学校	札幌市
齊藤サダ氏	函館市
サントリービバレッジサービス(株)	札幌市
森林総合研究所林木育種センター北海道育種場職場募金	札幌市
種水化学工業(株)	大阪市
ダイトードリンコ(株)札幌営業所	札幌市
大地みらい信用金庫	根室市
辻木材(株)	赤井川村
(株)トベックス	小樽市

企業・団体名	所在地
トヨタ部品北海道共販(株)	札幌市
(株)中山組	札幌市
にれのき会	札幌市
西川マザーウッズ	新ひだか町
函館市立栲栲小学校	函館市
函館地方国有林退職者緑の募金推進協議会	函館市
浜中製材協同組合	浜中町
東胆振森づくり協同組合	苫小牧市
美深林産協同組合	美深町
(株)ヘットプラン	札幌市
(一社)北海道森林土木建設業協会	全道
(株)北王札幌支店	札幌市
ボーイスカウト北海道連盟札幌地区	札幌市
北電ロータスカード	札幌市
北海道キリンビバレッジサービス(株)	札幌市
北海道警察職員募金	全道
北海道職員募金	全道
北海道私立専修学校各種学校連合会札幌支部	札幌市
北海道森林組合連合会	札幌市
北栄測量設計(株)	函館市
北海学園札幌高等学校	札幌市
北海道コココーラボトリング(株)	札幌市
北海道指導林家連絡協議会	全道
北海道信用金庫	札幌市
北海道森林スポーツフェスタ実行委員会	札幌市
北海道木材産業協同組合連合会	札幌市
北海道木材市場協同組合	札幌市
北海道木質バイオ開発事業協同組合	旭川市
北海道産商生活衛生同業組合	札幌市
北星信用金庫	名寄市
まこと交通(株)	札幌市
三津橋産業(株)	土別市
南北北海道林業総合事業協同組合	江差町
(一社)室蘭自動車整備振興会	室蘭市
(株)山本ビル	旭川市
山大産業(株)	苫小牧市
夕張地区製材協同組合	乗山町
(株)ヨシダ	苫小牧市
羊蹄林産協同組合	蘭越町
陸上自衛隊丘珠駐屯地緑の会	札幌市
林野庁北海道森林管理局・森林管理署職員募金	全道
留萌地方林業協同組合	留萌市
(有)ろまん亭	札幌市



緑の栄光 NO.66 2019年3月1日発行

発行 / 公益社団法人 北海道森と緑の会
 〒060-0003
 札幌市中央区北3条西7丁目1番地 北海道水産ビル6F
 TEL. 011-261-9022 FAX. 011-261-9032
 URL / <http://www.h-green.or.jp/>
 MAIL / morimidori@h-green.or.jp

編集後記

【みどりのGift】第66号をお届けします。今回の特集は「豊かな海を守る森づくり」がテーマです。森から流れ出る栄養豊かな水は、川を下り、豊かな海の生き物を育む。その自然の摂理に着目して「お魚殖やす植樹運動」に取り組んできた漁協女性部の皆さん、それを応援するユニークな緑の募金の取組などを紹介しています。森と海を結び、人と自然が織りなす、壮大なドラマを感じていただけたら幸いです。

お忙しい中、玉稿をお寄せくださいましたNPO法人森は海の恋人理事長 島山重篤様、名寄市立大学准教授 柳原高文様、その他取材にご協力をいただきました皆さま、まことにありがとうございました。今回も多くの皆さまのご協力により「みどりのGift」を発行することができました。

北海道森と緑の会は多くの皆さまに支えられて緑化運動を進めています。ありがとうございます。(N.O)



この印刷物は、環境にやさしい植物油インキを使用し、環境保護に配慮して印刷されています。